

「図書館を使った調べる学習コンクール」にチャレンジしよう！

調べる学習の進め方とまとめ方のポイント

荒川区立教育センター 学校図書館支援室

☆調べる学習チャレンジ講座に応募したみなさん、調べる学習に取り組んで、夏の素敵な思い出をつくってください。調べる学習の進め方やそのまとめ方についてのヒントをお伝えします。自分の力で進めていくときに使ってください。みなさんの学習を応援しています！

- ♡ たのしくすすめよう！
- ♡ あきらめずにすすめよう！
- ♡ まわりの人たちにそうだしながらすすめよう！

調べる学習はこんなふうに進めよう

☆調べる学習をスタートするのに用意しておく便利なもの

- ・クリヤーファイル、ポケットファイル、ノート、大きめのふうとうなど
 どんどん進んでいく学習の記録やメモ、調べた情報カード、写真や資料がばらばらにならないように、しっかりまとめてとっておける（保管）ものがあると、いいですよ。
- ・メモカード（百均ショップなどにもあります）
 調べた情報を書いておくものです。ノートでもいいですが、カードのほうが選んだり並べたりできて便利です
 なにを用意するかは、まわりの大人の人に相談しましょう。

NO	ステップ	自分で進めること	アドバイス
1	テーマをきめる	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の好きなことやふしぎだな、なぜかなと思うことを思い出してたくさん言葉で書き出してみよう ・もし、書いた言葉の中でかんけいがありそうなものがあったら、線でつないでみよう ・いちばん調べてみたいことがらや、テーマ、疑問をえらんで赤えんぴつなどではっきりしるしをつけよう 	<ul style="list-style-type: none"> ・白い紙やノートを使って時間をかけて、しっかり考えましょう。 ・実は、調べる学習の中で最も大切なことです。 <u>たいしてきょうみがないことや、そんなにすきでないことを選んでしまつと、うまくいきません。本当に調べたいこと</u>

			はなにかよく ^{かんが} ^き 考えて決 めましょう。
2	えらんだ理由 ^{りゆう} を書く	<ul style="list-style-type: none"> 調べようと思ったきっかけを文で書こう 	<ul style="list-style-type: none"> すき、きれいなわけ であったときのこと、そのときの気持ち ^{きもち} や思ったこと ふしぎだなと思ったわけ びっくりした、かんだうしたときのこと なぜ調べたいと思ったのかを、くわしくていねいに書きましょう <p>お 終わりのふりかえりをす るときにも役立ちます。</p>
3	じぶん ^{いけん} ^{よそう} 自分の意見や予想を 書く	<ul style="list-style-type: none"> なにを調べるのかをはっきり文で書いてみよう（調べたいことはまずは3つぐらいにしぼろう） 調べることについて、自分が ^{かんが} 考えた り予想したりすることを書いておこう どんな調べ方があるか、できそうか まわりの大人 ^{そうだん} にも相談しておこう (研究計画 ^{けんきゅうけいかく} の準備 ^{じゆんび}) 	<ul style="list-style-type: none"> ～の～は？ なぜ、どんな、どのぐらい、どのよ うに、なに、～ってほん とう？ などの言葉 ^{ことば} をつけて、調 べることを文に書き、は っきりさせておきましょ う。 調べることについての、 予想 ^{よそう} や考え、考えた理由 ^{りゆう} も、書いておきましょう
4	調べ方 ^き を決める (研究計画 ^{けんきゅうけいかく} を立て る)	<ul style="list-style-type: none"> 調べる ^{しら} ことがらによって、どんな調 べ方が合っているか考えて計画 ^{けいかく} を 立てよう 1 実物 ^{じつぶつ} を観察 ^{かんさつ} する 2 実験 ^{じっけん} して確か ^{たし} める 3 実物 ^{じつぶつ} を見学 ^{けんがく} する (博物館 ^{はくぶつかん} ・美術館 ^{びじゆつかん} ・資料館 ^{しりょうかん} ・動物園 ^{どうぶつえん} ・ 水族館 ^{すいぞくかん} ・工場 ^{こうじょう} など) ※事前 ^{じぜん} に問い合 ^と わせると、質問 ^{しつもん} に答 ^{こた} えてくれる場合 ^{ばあい} も 	<ul style="list-style-type: none"> コンクール ^{こうくう} に応募 ^{おうぼ} する場 合 ^{ばい} は、必ず ^{かなら} 本 ^{ほん} を利用 ^{りよう} し てください。 実物 ^{じつぶつ} を見たり、体験 ^{たいけん} した りするのは、最も ^{もっと} はく 力 ^{りよく} がありますが、でき ないときは、DVD やイ ンターネット ^{つか} を使うこ とをおすすめします。

		<p>4 本などの資料で調べる 新聞・雑誌・パンフレット・ポスターなど</p> <p>5 インターネットを使う ・キーワードで調べる ・メールなどで質問する</p> <p>6 人に聞く（インタビュー） ・会って聞く ※録音させてもらおうとよい ・手紙を出して聞く ※返信用封筒と切手をお忘れなく ・ZOOM などを使う ・ラジオ番組などで質問して、 専門家の人に聞く</p> <p>7 アンケートをとる ※どんな質問をするのか ※どんな人に協力してもらうのか</p> <p>8 体験する・自分で作ってみる</p> <p>9 写真・ビデオにとる 録音する</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・パンフレットやポスターなどでもらえる資料があったら、関係する人にことわってもらいましょう。 ・本のページの複写をするときは、必要などところだけにしましょう。 ・協力してくれる人がいるときは、相手の人にまえてもって連絡をきちんと取り、マナーを守って取材しましょう。 ・人や物を録音、撮影するときは、必ず相手の人に許可をもらいましょう
5	<p>調べる</p> <p>調べるために使う本 低学年は 3さつ 中学年以上は 5さつは用意しよう</p> <p>いろいろな方法で調べよう</p>	<p>1 研究計画メモを持って図書館に行く (もちろん学校図書館でも OK)</p> <p>2 必要な本を自分で探してみる</p> <p>3 司書さん(司書の先生)に相談する</p> <p>4 困ったときはまずは 百科事典を調べてみよう ・文章を見つけたら、大事なことを 選んで情報カードに書きぬく ・図鑑や学習年鑑も調べたいことが らによっては調べる</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「〇〇の本はありますか」ではなく、「〇〇の△△についての本をさがしています」などなるべく知りたいことをはっきり伝えて相談すると、協力してもらいやすいです。 ・百科事典はあいうえお順にのっています。 ・図鑑で調べるときは、目次と索引 ・よりくわしく知ることができる

	<p>5 もっとくわしくのっている本も探して調べる</p> <p>6 自分の予想したこととの違い<small>ちが</small>や同じだったことも書く<small>おな</small></p> <p>7 1つの調べたいこと<small>しつもん</small>（質問）については、2さつ以上<small>いじょう</small>の本で調べよう</p> <p>8 調べるだけでなく、本から分かったこと、気づいたこと、もっと知りたくなったこと<small>ぎもん</small>、疑問なども書いておく<small>こうさつ</small>（考察といえます）</p> <p>9 使った本<small>しんぶん</small>や新聞<small>じょうほう</small>の情報<small>きろく</small>を記録する</p> <ul style="list-style-type: none"> • 本の情報カードに書くこと <ol style="list-style-type: none"> ① 調べた本<small>なまえ</small>の名前 ② 書いた人 <small>ちよしゃ さくしゃ ぶん さくへんしゅうしゃ かんしゅう</small> 著者・作者・文・作編集者、監修などと書かれている ③ 出版社<small>しゅつばんしゃ</small>（発行所<small>はっこうじょ</small>） ④ 出版年<small>しゅつばんねん</small> <small>おくつけ</small> 奥付<small>いちばんうし</small>とって、本の一番後ろにあるページにのっている ⑤ のっていたページ ⑥ 図書館<small>としょかん</small>で借りた本<small>か</small>は請求記号<small>せいきゅうきごう</small>（本の背表紙<small>せびょうし</small>にはってあるラベル<small>きごう</small>に書いてある記号） • 新聞<small>しんぶん</small>の情報<small>じょうほう</small>カードに書くこと <p>10 インターネットを使って調べるときは、信頼<small>しんらい</small>できるサイトを見る。</p> <p>（例）</p> <ul style="list-style-type: none"> • 荒川区立図書館<small>あらかわくりつとしょかん</small>子どもひろばリンク集<small>しゅう</small> • 都立図書館<small>とりつとしょかん</small>こどもページ • 国際子ども図書館<small>こくさい</small>キッズページ 	<ul style="list-style-type: none"> • それぞれの本に書いてあることがちがっていたら、そこから<small>あた</small>新しい？が生まれる。 • 使った本<small>じょうほう</small>の情報<small>わす</small>は忘れずに記録<small>きろく</small>しましょう。大切なポイントですよ。 • 自分の考えたこと<small>もと</small>の元になる情報<small>さいご</small>です。最後には資料リスト<small>しりょう</small>にのせます。 • ページ<small>きろく</small>を記録しておくともう一度調べたいときに、すぐ探<small>さが</small>せます。 • インターネットのサイトは、国の機関<small>くに きかん</small>や公的<small>こうてき</small>（都<small>と</small>、<small>けん</small>、<small>し</small>など）機関<small>きかん</small>が子ども向け<small>む</small>に開<small>ひら</small>いているものがあります。
--	---	---

		<p>などから、検索してみよう</p> <p>•情報を利用するときは記録すること</p> <p>① 発信元（作成者）</p> <p>② Webページ名</p> <p>③ Web サイト名</p> <p>④ URL</p> <p>⑤ 更新年月日</p> <p>⑥ 調べた月日</p> <p>（例）ツバメってどんな鳥</p> <p>①公益財団法人日本野鳥の会</p> <p>②ツバメってどんな鳥</p> <p>③消えゆくツバメをまもろう</p> <p>④</p> <p>https://www.wbsj.org/activity/conservation/research-study/tsubame/whatis/</p> <p>⑤2021.3.29</p> <p>⑥2021.6.16</p> <p>11 本物を見る</p> <p>博物館・美術館・動物園・水族館・その他展示会や資料館などで本物を見る</p> <p>12 実際にやってみる、体験する</p> <p>作ってみる</p>	<p>• どうしても本物が見られないときはそれぞれの公共施設のもつデジタルアーカイブスを利用することもできます。</p> <p>• 体験には準備や予約、時間がかかることもあります。できるかどうか、安全かなど、大人に相談して取組みましょう。</p> <p>• 本物を見ること、実際に体験することは、なによりも大切な調べ方です。そこから、新しい疑問や力のある感想が生まれます。</p>
--	--	---	--

		<p>じっけん かんさつ 13 実験・観察する</p> <ul style="list-style-type: none"> じっけん いじょう ・実験では、2つ以上のことがらを調べるときは、条件のそろえ方、 かえ ちゅうい 変え方に注意する。 かんさつ かなら ひづけ ・観察は必ず調べた日付を書く。 <p>かつどう おわ あつ 14 調べる活動が終わったら、集めた しゃしん ぜんぶなら カードや写真、データを全部並べ せいいり じゅんばん なら て、整理したり、順番に並べたり して、そこから分かったこと、考 わ かんが えたことを文に書いておく。</p>	<p>かんさつ つつ ばあい ・観察を続ける場合は、 まいにちおな 毎日同じ時こくに調べ る</p> <ul style="list-style-type: none"> 気づいたことをくわしく ていねいにスケッチす るなど、写真にとるだけ しゃしん でなく気づいたことの きろく 記録を書いておきまし よう。
6	分かりやすくまとめる	<p>せつめい ・調べたことを説明する文を考えて書 く</p> <ul style="list-style-type: none"> しゃしん えら ・使う写真やスケッチを選んだり、は じゅんばん なら る順番に並べたりする ひょう ・データをもとに表やグラフをかく または使いたい表やグラフを準備 じゅんび する 自分が調べて分かったことや考え たことが伝わるものになったか かくにん 確認する。 	<p>ひつよう ・どこにどんな文が必要か 考えよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> じぶん はっけん ・自分の発見や、調べたこ とがよく伝わるように、 えら なら くふう 選んだり並べたり工夫 しましょう。 ひょう ひょうだい ・表には表題とそれぞれ たんい わす の単位を忘れずに グラフは伝えたいことが つた たてじく 伝わるように、縦軸のメ モリの大きさや単位を たんい くふう 工夫しましょう。 まわりの人にも見てもら って分かりやすくなっ ているかチェックして もらいましょう。 (いったん、ポケットファ イルなどに入れてみる と、よく分かりますよ)
7	本のように作ってし あげる(製本)	<p>だいし がようし ・大きな台紙(画用紙など、コンク ール出品の場合は B4 または八つ切 りサイズまで)に順番にはったり、 じゅんばん 書いたりして、調べたことを見やす くまとめる</p>	<p>かお つよ ・タイトルは顔。調べて強 く思ったことを入れて、 た 他の人が「見たい! 読み たい!」と思うような ことば 言葉でつけよう</p>

	<p>できあがり！ さいごまでよくがんばりました。</p>	<p>じゆんばん 順番は</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 タイトル（表紙） ひょうし 2 目次 もくじ • 3より後ろの内容には忘れずにページ番号を書こう うし ないよう ばんごう 3 テーマ・疑問について ぎもん 4 調べようと思ったきっかけやわけ しら 5 はじめ思っていた自分の予想 よそう (仮説) かせつ 6 調べた方法について ほうほう 7 調べたこと、分かったこと 8 調べたことについて考えたことや学んだことを自分の言葉で書こう まな • 予想は当たっていましたか？その理由は？ よそう あた りゆう • 始めに調べたかったことは、分かりましたか？ はじ • 調べていく中で新しく分かったこと、浮かんできた疑問は？ あた ら う ぎもん 9 活動をふりかえって考えたこと、思ったこと（感想） かつどう かんそう • 調べる前と後で、考えが変わったことも書くとよい まえ あと か • つづきがあればやってみたいこと、調べてみたいことはなんですか？ • 調べている中で心に残ったエピソードはありますか？ のこ 10 参考資料リストを書く・作る さんこうしりょう (図書館振興財団の調べる学習コンクールホームページにもリストのもと元がのっています) 	<p>※「～について」は✕</p> <ul style="list-style-type: none"> • イラストや写真などもくわえて、すてきに仕上げましょう。 • いろいろな資料を読み比べて分かったことや考えたことは？ しりょう くら • 情報カードの出番ですね でばん メモしておいた使った本、新聞、雑誌、パンフレット、サイトなどの記録 しんぶん ざっし きろく • 協力してもらった（インタビューや何かを教えてもらった）人なども書きましょう きょうりょく おし
--	-----------------------------------	--	---

だいたいこんなふうにできあがればOKです！

1	ひょうし 表紙・タイトル	どんなことについて調べたかがよく分かり、自分がいちばん伝えたいことをタイトルにしてみましょう。
2	もくじ	どのページに何が書いてあるのか、ここを見ただけでだいたいの内容が分かるようにしましょう。
3	はじめに (調べたきっかけ)	なぜテーマに興味をもったのか、どんな疑問をもって調べ始めたのかを書きましょう。できるだけ、身近なエピソードも交えて、ていねいにたくさん書けるといいですね。
4	ほんぶん 本文1	「何について調べたかや予想」 ※なぜそのような予想を立てたのかの理由も、自分の今までの体験から書けるといいですね。 「どのような方法で調べたか」を書きます。 ※実験や観察、見学など様子を伝えたいときは、図や絵、写真もそえましょう。
5	ほんぶん 本文2	「調べて何が分かったか」を書きます。 ※グラフや図、絵、写真など目で見てよく分かり、アピールするようにします。 大事なところは文字の色や大きさを変えるとよく伝わります。 「(予想と比べたりして) 考えたこと」を書きます。 ※資料や情報をもとにして、自分の考えを文章に書いて伝えましょう。
6	まとめ	「調べて楽しかったこと、大変だったこと、思ったこと、感じたこと」を書きます。
7	さんこうしりょう 参考資料リスト	調べるときに使った本、Webサイト、新聞、人、場所などについて題名や名前を書きます。

保護者の方へ ～調べる学習コンクールの応募形式について～

- 1 サイズ 小学生 B4 サイズまで（八つ切りサイズも可）
中学生 A4 サイズまで
※模造紙等にまとめる場合は、上記サイズに折りたたむこと
- 2 ページ数 本文 50 ページ以内
表紙・目次・参考文献リストは含まない
※パソコンで入力する場合は 11 ポイント以上、
1 ページの文字数は 1,000 文字を目安とする。
- 3 必ず書くこと 調べたときに利用した資料名と図書館名

情報カード見本（図書を使うとき）

じょうほうカード ☆ だいじなことをえらんでかきうつそう			
しらべたこと			
<div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; height: 60px; margin-bottom: 10px;"></div> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/>			
書名（本のなまえ）	書いた人	しゅっぱんしゃ 出版社	しゅっぱんねん 出版年

じょうほうカード ☆ だいじなことをえらんでかきうつそう

しらべたこと しらべた日 月 日

<small>ウェブ</small> Webページ名	Web サイト名	作った人・ <small>だんたい</small> 団体
URL		<small>こうしんねんがっぴ</small> 更新年月日